

【裏表紙】（保護者啓発用の紙面）

保護者が、自分の子供の変化にいち早く気づけるよう、家庭で確認してほしい項目を掲載しています。また、悩みを相談できる各種相談電話の番号を掲載しています。

活用例

- 4月当初の参観日の全体説明等の場面で活用する。
- 学級指導後、家庭に持ち帰らせてチェックリストに記入してもらい、教師・保護者の二者面談等で活用する。
- コピーし、地域懇談会などでの配布資料として活用する。

※ 学校、学年、学級等の実態に応じて工夫して活用ください。

保護者の協力が重要であることを伝え、家庭・学校・地域が連携しながら子供をいじめから守ることを共通理解する。

これまでの子供への関わり方について振り返り、今後の子供との関わりについて考えてもらう。

インターネットへの理解を深め、危険性を理解した上で家庭でルールを作り、フィルタリングを設定するよう呼びかける。

子供の变化を捉える目をもって、子供と接してもらうためのチェックリスト。変化にいち早く気づくことで、いじめから子供を守るよう働きかける。

最悪の事態を避けるため、一人で悩むのではなく、誰かに相談することが大切であることを伝える。

いじめ防止等に関するリーフレットの活用例（中・高校用）

【リーフレット配布の趣旨】

青森県いじめ防止基本方針に基づき、「いじめは、どの子供にも、どの学校にも起こり得るものである。」という共通認識のもと、いじめの防止、早期発見・対応の観点から児童生徒、家庭、地域への啓発を行うとともに、教員の指導力向上に役立てる。

【設定】

活用（指導）時期：年度初め（4～5月頃）
 対象：中・高校生
 活用場面：短学活や学級活動、道徳、学年集会等

【表紙の意図】

青森県に住む全ての子供から大人、地域 みんなが手をつなぎ、支え合うことで明るく、くらしやすい県を目指そうとする姿をイメージしている。背景は自然が豊かな青森県全体に温かい心が広がっていくイメージを表現している。

自分を含め、一人一人の存在を認め、「大切な仲間だから」という意識のもと、自分の学級や学校を見直す扉としている。

「いじめを防ごう」という言葉を前面に出し、学級・学校・地域・県内…全ての人たちが「大切な仲間」であることに気づいてほしいという思いを込めている。

時に支え合い、時に向かい合いながら過ごす、仲間の存在に感謝し、仲間から見ると自分も大切な存在であり、自他を大切にすることに気づいてほしいという思いを込めている。

「思いやり」はいじめ防止のために必要な、最も基本的な気持ちである。すべての人たちが思いやりの気持ちをもって生活することがいじめ防止につながることを伝えたい。

表紙絵：県総合学校教育センター 上山香子先生

I いじめ防止等に関するリーフレットの活用について

いじめ防止の指導を、以下の①から⑥の6段階に分け、学級担任等が順を追って指導することができる構成としています。参考として、各段階には、指導目標、指導例、「いじめ問題対応の手引き」の関連ページを示しています。

- ① 普段の身近な場面から、いじめとは何かを考える。
- ② いじめられている側の気持ちを考える。
- ③ いじめのとらえ方（いじめの定義）を確認する。
- ④ 自分のクラスを点検するとともに、いじめをなくすために自分ができることを考える。
- ⑤ いじめは許されない行為であり、予防に努めることが大切であることを確認する。
- ⑥ いじめを一人で悩まず、相談することが大切であることを確認する。

II いじめ防止について、一人一人ができること

いじめ防止について自分ができることをまとめる欄（下の④）を設定しています。自分の考えを書かせたり、まとめたりするとともに、家庭で保護者にも確認してもらう等、具体的な実践につながる工夫をし、より効果的に活用してください。

III 『いじめ問題対応の手引き』の活用について

平成26年3月に県教育委員会が配布した『いじめ問題対応の手引き』を参考にできるよう、関連ページを示しています。関連ページを一読しておいて、リーフレットを配布して指導する際、活用してください。

ホームページ：<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/ijimezantei.html>



① 普段の身近な場面から、いじめとは何かを考えよう。

指導目標
いじめの場面を想起させながら、自分たちの生活場面を振り返らせる。

指導例
吹き出しの言葉を読んで、具体的な場面を想起させ、自分の意見、グループの意見などを発表させてまとめたり、実際の事例等と絡めながら、いじめについて考えさせたりする。

事前にいじめについてのアンケートを行い、実際に嫌だと思ったことを分類し、考えさせる。

手引き関連ページ… P 2

③ いじめとは何かを確認しよう。

指導目標
その子供が心身の苦痛を感じているものが「いじめ」であることを理解させる。

指導例
法律上の定義の文の意味を考えさせたり、法律を調べさせたりするとともに、具体例もまじえてまとめさせる。

手引き関連ページ… P 1

④ 自分自身と自分のクラスを点検するとともに、いじめをなくすために自分ができることを考えよう。

指導目標
チェックリストを使い、生徒自身やクラスを評価させるとともに、自分ができることやいじめをなくす取り組みを考えさせる。

指導例
挙手等により結果をまとめるとともに、クラスの改善のために自分ができることをことを書かせたり、個人やクラスの目標等を作成させたりする。

手引き関連ページ… P 29～32

② いじめられている側の気持ちを考えよう。

指導目標
いじめられている側の気持ちを考えさせる。

指導例
中央の女の子の気持ちを考えさせたり、加害者・傍観者の立場からの言動を考えさせたりする。

手引き関連ページ… P 3～7

⑤ いじめは許されない行為であることを再確認し、予防に努めよう。

指導目標
いじめは絶対に許されない行為であることを再確認させ、今後の望ましい行動等への意欲をもたせる。

指導例
図や教師の説話等で、いじめに対する望ましい意識や態度を確認する。

手引き関連ページ… P 37～43

⑥ いじめを一人で悩まず、相談しよう。

指導目標
いじめについて一人で悩むのではなく、話しやすい人に相談することが大切であることを理解させる。また相談窓口が裏表紙にあることを伝える。

手引き関連ページ… P 110～111